

貧富の不平等解決

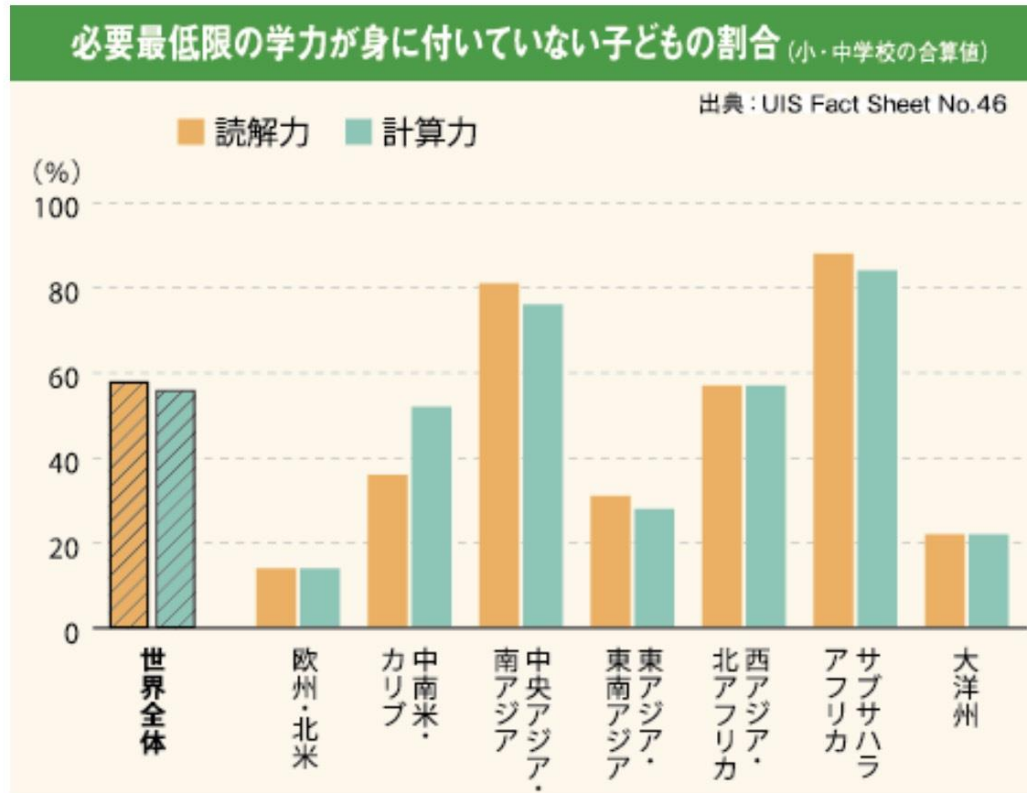
チーム名：MSS
ALOHA英会話

中学3年、曲竹優真
中学3年、清水彩葉
小学5年、佐藤嘉栄

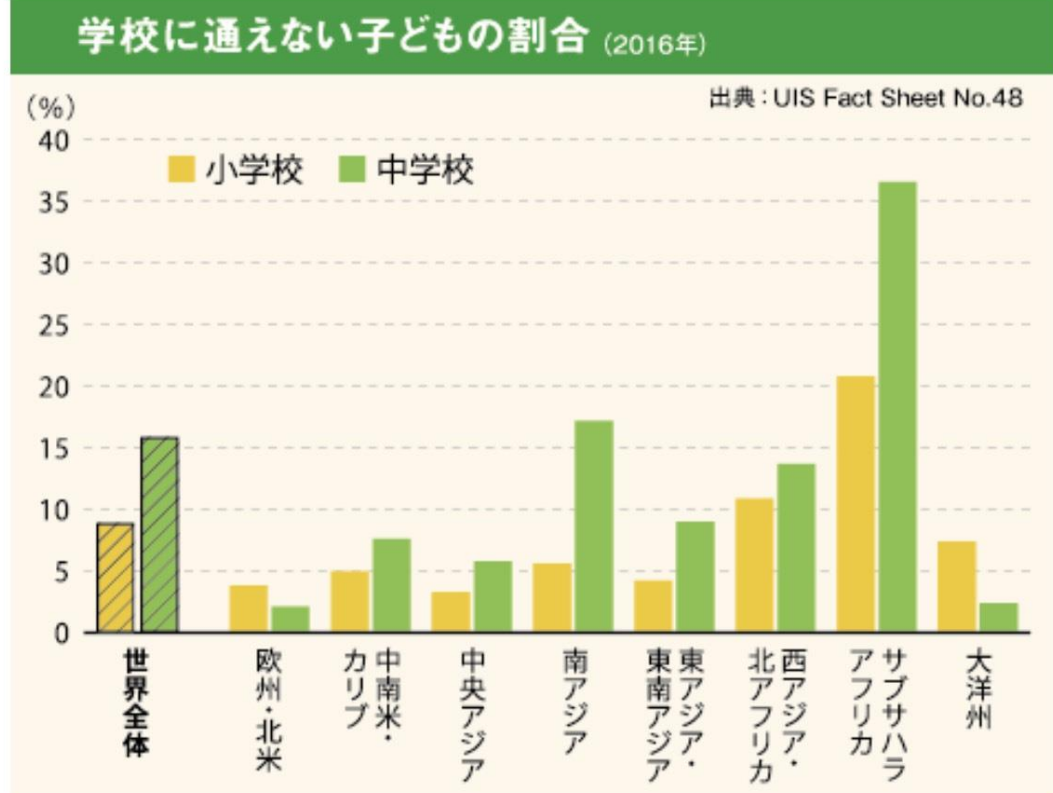
現状 発展途上国の教育について

- 世界には一日に一度の食事すら満足に食べる事が出来ず、空腹のまま学校に通う子供が6600万人います。さらに、6700万人の子供たちは学校に通うことすらできていません。
- 世界平均では、成人(15歳以上)の識字率は78%で、小学校学齢期の子供約2億人が基礎的な読み書きを習得していません。
- 世界には年間540万人の子供が5歳になれずこの世を去ります。
- 世界では10人に1人はきれいな水が使えていません。

世界の子供の学力の現状



出典：UIS Fact Sheet No.46



出典：UIS Fact Sheet No.48

現状の解決策

- 募金活動や寄付、リサイクル、支援金募集や義援金、SDGSなど様々な活動をしています。
（支援金は自分が応援したい団体を、選んで寄付して被災地の支援活動に役立ててもらおうお金で義援金とは被災者にお悔やみや応援の気持ちを込めて直接届けるお金の事）

これらの資金を使用して次のような取り組みがされています。

募金の使い道

1. 肺炎にかかった子どもの治療をするための抗生物質の購入。
2. 下痢による脱水症状から命を守ることができる経口補水塩の購入。
3. 蚊を媒体とするマラリアから子どもたちを守るための蚊帳の購入。
4. 井戸をつくるための資金。

しかし、上記の1～3では対処療法になっているだけで根本的な解決になっていません。そこで、私たちは4の方法を発展させた提案をしていきます。

提案

- 発展途上国のインフラの1つである灌漑事業に注目しました。
- 私たちは、**1万円でポンプ機**を作ることができる事例があることを知りました。この事例を基にして、募金で事業の元手のお金を集めて、現地の人たちを雇用して国家事業の下で水道のインフラ整備を行うことを提案します。

¥ 10,000

ネパールで手押しポンプ1基を設置することができます



WaterAid/ Mani Karmacharya

¥ 5,000

マラウイで家庭用トイレ2基を設置することができます



WaterAid/ Dennis Lupenga

毎月のご寄付 ¥ 2,000

1年間で、10人の人々が清潔な水を使えるようになります



WaterAid/ Anna Kari

効果

- ・ 現地の人々が働くことで日常の生活費を得ることができる。

⇒ 稼いだお金を教育費に使えるようになる。

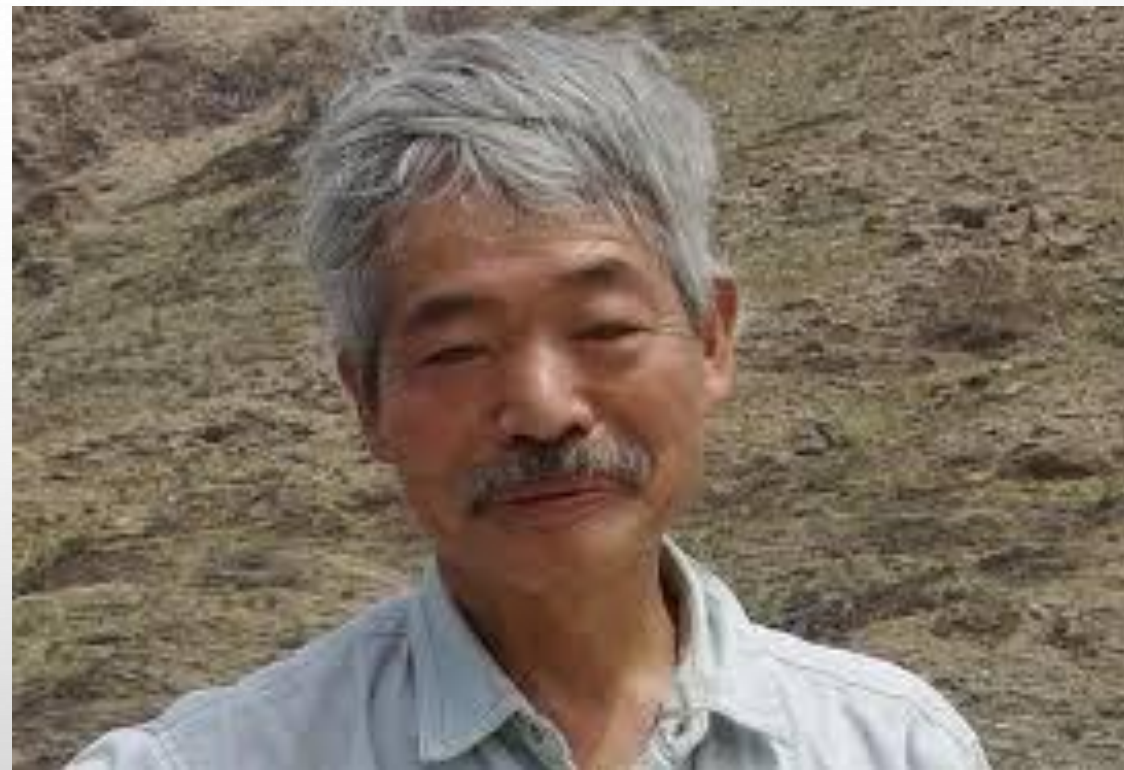
- ・ 現地の人々が「灌漑事業の経験を積むことができる」

⇒ 農業灌漑もできるようになる。

- ・ 子どもが水汲みをする必要がなくなる。

⇒ 教育問題の一つである、水汲みをするために学校への行けない事を改善できる。

中村哲医師について



- ・中村哲医師は国内病院勤務ののち、1984年に日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）から派遣されてパキスタン北西辺境州の州都ペシャワールに赴任します。以来、20年以上にわたってハンセン病を中心とする医療活動に従事しました。

また、2000年の大干ばつをきっかけに**用水路の建設事業**に取り組みました。約7年かけてガンベリ砂漠を潤す総延長25・5キロに及ぶマルワリード用水路を整備しました。砂漠は1万6500ヘクタールの緑の大地に生まれ変わりました。稲穂や麦が育ち、イモやオレンジまで実り、65万人が帰農しました。住民のよりどころである**イスラム寺院や学校も建設しました**。

- ・2019年に突然、何者かの銃撃によって命を奪われてしまった中村哲さん。死因は、肝臓損傷による失血死といわれています。なぜ撃たれたのかは、中村哲さんが生涯をかけて尽力していたマルワリード用水路工事にあるとされる線が濃厚のようです。

- ・マルワリード用水路は、アフガニスタンとパキスタンを流れるクナール川の水を引いたものでした。そのため、パキスタン側に流れる水の量が少なくなってしまう、そのことから中村哲さんが武装勢力のターゲットにされたのではないかと囁かれています。

まとめ

- ・ 現状、ただ対処療法になってしまっている募金での解決策では、歯止めが利かない。募金を使用した国家事業による水道インフラ整備をすることで、不足している水資源を確保しつつ、教育と灌漑土木技術の向上が期待できる。

- ・ 争いごとの多くは「貧困」が原因。

戦争や内戦は経済格差によって生まれる。だから農業を立て直す！

豊かな大地に戻ればきっと争いはなくなる。だから「水」が大切なんだ！中村医師の言葉です。

参加者の感想、役割

- 曲竹優真（役割：文章作成、入力、アイデア）今回の活動で困っている人が多いと改めて実感しました。だからこそ自分達ができることを積極的に取り組むことが大切だと思いました。
- 清水彩葉（役割：文章作成、入力、アイデア）今回調べて、世界で起きている貧困のことや現状についてが分かりました。今後、日本や世界の不平等がなくなってほしいです。
- 佐藤嘉栄（役割：アイデア）世界には勉強できない子がいるんだとわかりました。学校に通うことができることは幸せなんだと思いました。

- 出典、

[HTTPS://GOODDO.JP/MAGAZINE/HEALTH/AFRICA_HEALTH/4021/](https://GOODDO.JP/MAGAZINE/HEALTH/AFRICA_HEALTH/4021/)

妹の命を奪った水、水・衛生専門の国際NGOウォーターエイド

[HTTPS://SPECIALS.NISHINIPPON.CO.JP/TETSU_NAKAMURA/KIDS/](https://SPECIALS.NISHINIPPON.CO.JP/TETSU_NAKAMURA/KIDS/)